

Ⅱ 調査業務

調査番号	1	分野名	環境保全	予算区分	国庫・県単
調査名	酸性雨等森林衰退モニタリング事業				
担当者名	井上 歩		調査期間	平成16年度～	

調査のねらい

本事業は、「酸性雨長期モニタリング計画」に基づき、日本の代表的な森林のベースラインデータの確立及び酸性雨による生態系への影響を早期に把握するため、森林モニタリング（樹木衰退度調査）を実施することを目的に、環境省の委託事業で行う調査である。

調査の達成目標

日光国立公園内の植生モニタリング地点において、樹木衰退度の経年変化を調査することにより、大気汚染や酸性雨等による森林への影響の早期発見が可能となる。

当該年度の調査概要

設定された永久調査地点において、中心から12m離れた東西南北の4地点周辺で、優占木各5本を無作為に選定し、合計20本の樹木をモニタリング対象樹木とする。対象木について、樹高・胸高直径のほか、樹勢や梢端の枯損等の有無について観察を行った。調査結果は下表のとおりである。

No. 308のウラジロモミについては、上木の被圧により生長が阻害されており、酸性雨による影響ではないと考えられる。また、No. 310, 311のブナについては、表土の流出により根が露出しているため、樹勢の衰えが見られる。これらの結果から、酸性雨による影響とは判断できず、経過を観察することとする。

土壌・植生 E) 樹木衰退度調査表 (BANETサブマニュアルに対応した改訂様式)

地点名: 日光中禅寺湖畔 狸窪

機関名: 栃木県林業センター

報告者名: 井上 歩

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
(毎木調査番号)	284	301	302	303	304	281	333	295	298	299	288	289	290	291	334	306	307	308	310	311	
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N	
樹種名 (和名)	アオダモ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	オオイタヤマメイゲツ	ウラジロモミ	ブナ	ウラジロモミ	ブナ	アオダモ	ブナ	ウラジロモミ	ブナ	ブナ							
(学名) 記入しにくい場合は別表でも良い	<i>Fraxinus lanuginosa</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Acer shirasawanum</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fraxinus lanuginosa</i>	<i>Fraxinus</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>						
相対的樹高	-	-	+	-		+	-	+			-						+	-			
樹高 (m)	12.9	21.1	31.6	13.3	18.0	24.2	18.2	34.2	17.2	20.0	19.9	22.8	28.0	23.5	24.4	13.1	23.3	15.7	14.5	15.4	
胸高直径 (cm)	18.9	26.0	67.7	19.5	31.6	84.0	20.6	53.7	28.9	43.2	20.9	34.7	36.4	30.8	30.4	36.1	42.0	19.5	24.6	28.8	
樹勢	1	1	1																	1	
樹形					1		1												1	1	
枝の生長量																					
梢端の枯損	1	1	1															1	1	1	
落葉率																					
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況		1																			
ダメージクラス		1																			

※空欄は、「正常」とする。

※樹勢 1: いくぶん被害の影響を受けているが、あまり目立たない 2: 明らかに異常が認められる

※樹形 1: 若干の乱れはあるが、自然形に近い

※梢端の枯損 1: 多少あるが、目立たない 2: かなり多い